

## 行動援護従業者養成研修（令和3年11月7日開講クラス）

区分	日時	科目	目的	内容	時間数	担当講師		
講義 10時間	11月7日(日)	9:00～ 9:30	開講式	正しく学習するために 受講の流れを理解する		0.5	事務局	
		9:30～ 15:00 (休 憩時間30分を 含む)	強度行動障害に 関する制度及び 支援技術の基礎 的な知識に関する 講義	強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。	強度行動障害と制度	5		
					構造化			
					支援の基本的な 枠組みと記録			
					虐待防止と身体拘束			
	実践報告							
	15:00～ 18:00	強度行動障害の ある者へのチーム 支援	チーム支援についての 理解を深める。	強度行動障害支援 の原則	3			
	11月14日 (日)	9:00～ 10:30	強度行動障害が ある者の基本理解 に関する講義	強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ	強度行動障害とは	1.5		
					強度行動障害と医療			
		10:30～ 11:00	強度行動障害と 生活の組み立て	生活の様々な場面での 支援について学ぶ	行動障害のある人の 生活と支援の実際	0.5		
11:00～12:00		基本的な情報収集 と記録等の共有	強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。	情報収集とチーム プレイの基本	1			
				固有の コミュニケーション	3			
15:30～ 17:00	行動障害の背景に ある特性の理解		行動障害の背景に あるもの	1.5				
演習 14時間	11月21日 (日)	9:00～ 12:00	障害特性の理解と アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性に配慮した 支援計画の立案</li> <li>・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達</li> <li>・記録の方法</li> <li>・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ</li> </ul>	障害特性の アセスメント	3		
		12:30～ 15:30	環境調整による 強度行動障害の支 援		構造化の 考え方と方法	3		
		15:30～17:00	記録に基づく支援 の評価		記録の収集と分析	1.5		
		17:00～18:00	危機対応と 虐待防止		危機対応と虐待防止について 理解を深める	危機対応と虐待防止	1	
		18:00～	閉講式		研修を振り返り、 学習内容を再確認する	研修のまとめ・修了証 書授与	0.5	
								25